



いち早い出動につながるために

三重北消防指令センターが運用を開始

四日市市・桑名市・菰野町の3消防本部で共同運用を行う最新鋭の消防指令センター「三重北消防指令センター」が中消防署中央分署内(曾井町)に整備され、4月1日から運用を開始しました。

三重北消防指令センターの主な特長

■通信セキュリティーの向上

消防救急無線が従来のアナログ方式からデジタル方式へ変更となることにより、個人情報などを第三者に傍受されないよう、通信セキュリティーの向上を図りました。

■通信指令機能の強化

119番通報が発信された場所を特定できる「発信地表示システム」や災害現場に最も近い救急車などを出動させる「車両動態管理システム」などの導入により、通信指令機能の強化を図りました。

■3消防本部間の連携強化

3つの消防本部の通信指令部門を一カ所で運用することにより、大規模災害などが発生した場合でも、早期に出動応援体制を取ることが可能になります。



消防指令センターは
こんなところ

皆さんからの

119番通報を受け付け、いち早く出動指令を出し、的確な現場活動につなげます。

通報受け付け

119番通報を受信すると、発信地表示システムとの連携により、通報者の位置情報などを確認します。



災害発生地点の決定

通報された住所や付近の目標物などの情報から、災害地点を特定します。



出動隊の編成

災害種別・規模に応じた最適な出動隊を編成します。

出動指令

自動出動指定装置により、消防署および出動車両に出動指令を行うとともに、詳細な指令情報を文書やメールで伝達します。



出動→現場活動

出動隊は消防指令センターからの情報を受け、最短で到着するルートを確認するとともに、現場では同センターと情報共有を行い、的確な現場活動を行います。



119番をかけるときには

消防車や救急車が迅速に出動するためには、適切な通報が大切です。こちらから場所、事故種別(火災・救急)や電話番号など順番にお聞きしますので、落ち着いてお答えください。



情報指令課
しおみ 塩海 誠